

岡安証券 ～注目・外株銘柄～ (2024年4月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2024年3月28日現在)

<新規>

P1【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)

P2【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)

P3【公益】 ネクステラ・エナジー(NEE)

P4【石油メジャー】 シェブロン(CVX)

<継続>

P5【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)

P6【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)

P7【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)

P8【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)

P9【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P10【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)

P11【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)

P12【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)

P13【SaaS系企業】 アドビ(ADBE)

P14【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)

P15【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)

P16【半導体】 マイクロン・テクノロジー(MU)

P17【半導体】 アプライド・マテリアルズ(AMAT)

P18【半導体設計】 シノプシス(SNPS)

P19【セキュリティ】 クラウドストライク・ホールディングス(CRWD) 次世代ファイアウォール機器専門大手

P20【配車・出前】 ウーバー・テクノロジーズ(UBER)

<新規>

半導体受託製造の世界最大手

動画配信世界最大手

環境配慮型の発電に特化する電力会社

NYダウ工業株採用の世界的石油メジャー

<継続>

ソフトウェア世界最大手

デジタルIT機器の設計・販売大手

画像処理半導体(GPU)開発企業

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

米SNS運営世界最大手

米電気自動車(EV)大手

肥満症薬で注目される米製薬大手

クリエイター向けソフトウェア企業

企業向けIT管理ソフトウェア企業

米ロジック半導体大手

米半導体メモリ大手

半導体製造装置の世界大手

半導体・電子部品設計ツール(EDA)大手

配車サービス世界最大手

台湾セミコンダクターADR(TSM)

世界最大の半導体受託製造企業、先端半導体に強く、AI向けで高いシェア

会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計/製造/販売を一切せず、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして2022年には532の顧客企業を対象に12,698個の製品を製造。製造する半導体はコンピュータ/通信/産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用される。台湾・ニューヨーク市場に重複上場。毎月原則10日に前月売上を発表。

注目ポイント

□ **先端半導体で9割のシェア**：主要顧客にアップルやエヌビディア、クアルコム、AMD、ブロードコムなど世界的大企業を抱え、最大顧客のアップルは全売上高の2割程を占めると見られる。顧客企業はスマホやサーバー等に使用される先端半導体の製造を委託。ファウンドリのシェアで5割超、AI等に使用される先端半導体でシェア9割を誇る。

□ **台湾・日本・米国・ドイツに半導体工場を建設**：各国政府が半導体を重要産業として補助金等で支援体制を取る中、同社は台湾の先端品工場を含む、日本・熊本、米アリゾナ、独トレステンに新工場を建設をする計画。熊本工場は2月に開所、年末量産開始を予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	136.05 (03/28)
52週高値(日付)	158.4 (24/03/08)
52週安値(日付)	81.21 (23/04/26)
時価総額	7,057億ドル 1,06兆8,277億円
株価変化率(%)	57.4 (過去6ヶ月間) 49.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.9 (倍)
株価売上高比率	10.4 (倍)
PBR	6.5 (倍)
税前配当利回り(%)	1.64 (直近年率)
配当成長率(%)	8.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.2 (%)
株式ベータ	0.99 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
2022/12	2,263,891	43	1,121,279	73	1,016,530	70	196.02	55.00
2023/12	2,161,736	-5	921,466	-18	838,498	-18	161.70	65.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	625,532	—	325,041	—	295,904	—	57.06	13.75
2023/Q4	625,529	-0	260,205	-20	238,712	-19	46.03	15.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

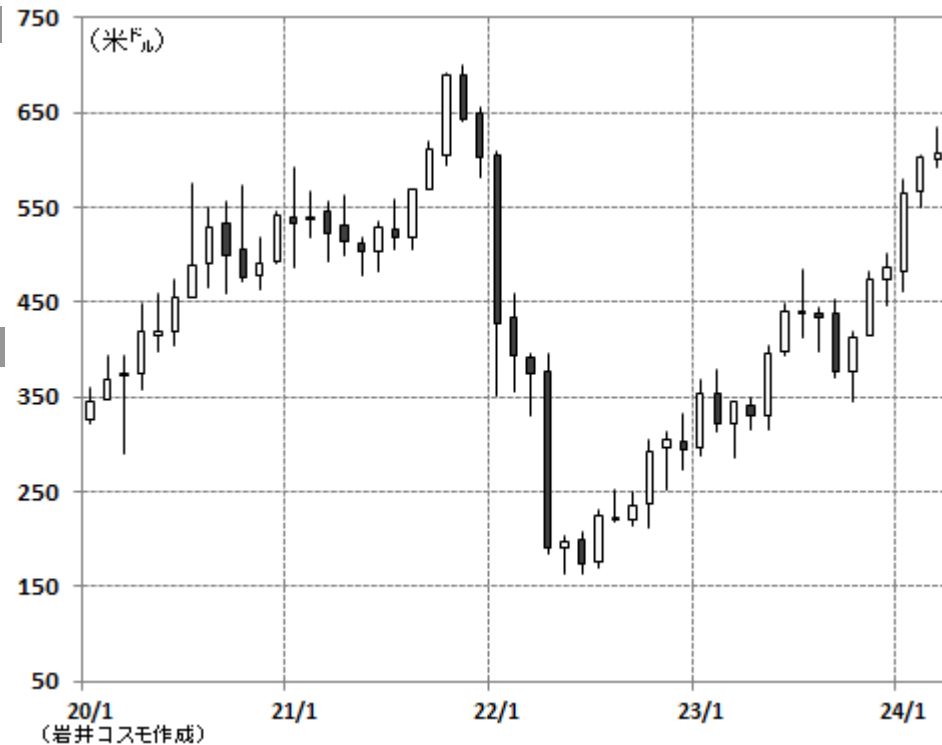
会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。23年12月末時点の会員数は全世界で約2.60億人。

注目ポイント

□ **アカウント共有に厳格対処、ユーザー数の増加要因に**：Netflixでは1億人超が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定、他人のアカウントを共有している視聴者に厳しく対応する措置を各地で積極化した。結果、7-9月期の会員純増数は876万人と10-12月期の1,312万人と加速している。

□ **米人気プロレス番組獲得**：今年1月に米最大プロレス団体WWEと人気プロレス番組「RAW」やライブイベントの25年1月から長期独占配信で合意、契約額は50億ドル規模とされる。23年11月には同社初のゴルフのライブ・スポーツイベント「Netflixカップ」を開催し、ジャンルを拡大中。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	607.33 (03/28)
52週高値(日付)	634.32 (24/03/26)
52週安値(日付)	315.62 (23/05/02)
時価総額	2,628億ドル 39兆7,869億円
株価変化率(%)	61.4 (過去6ヶ月間) 87.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	49.8 (倍)
株価売上高比率	8.0 (倍)
PBR	12.8 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	26.1 (%)
株式ベータ	1.37 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00

四半期業績

2022/Q4	7,852	—	550	—	55	—	0.12	0.00
2023/Q4	8,833	12	1,496	2.7倍	938	17倍	2.11	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

風力などの環境配慮型の発電に特化する電力会社

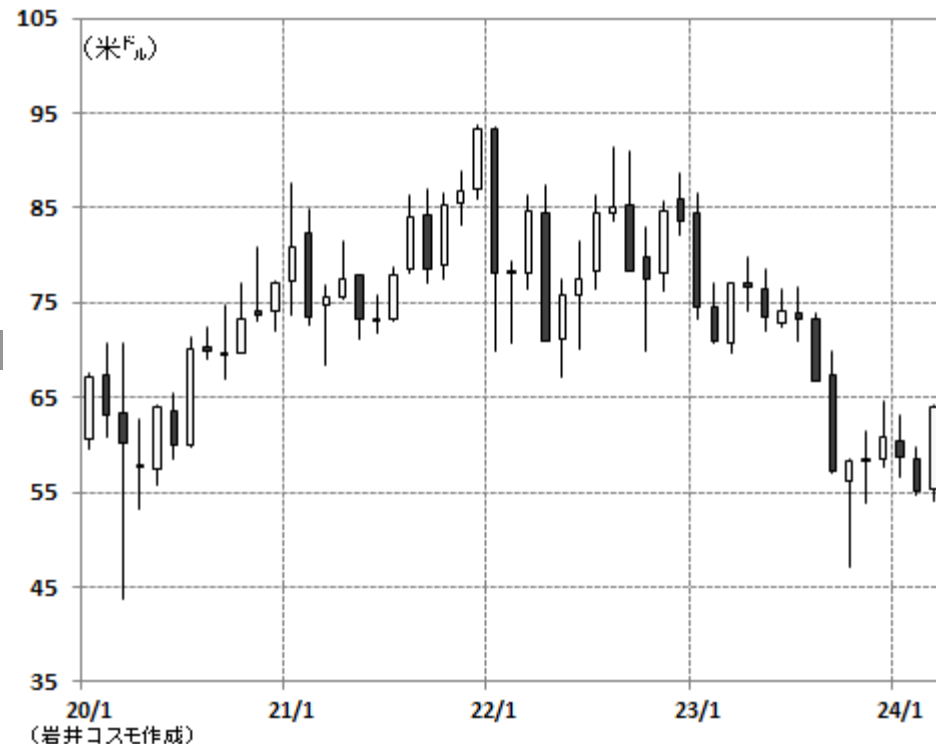
会社概要

北米最大級の電力・エネルギー・インフラ企業。1,200万人以上の住民を抱えるフロリダ州の電力会社フロリダ・パワー＆ライト(FPL)と米国・カナダで発電事業を行うネクステラ・エナジー・リソース(NEER)が中核企業。2019年にフロリダ州の別の電力会社ガルフ・パワーを買収。FPLは天然ガス火力を中心に太陽光や原子力発電も手掛ける。S&P500配当貴族指数・構成銘柄。2026年までの年間・増配率目標約+10%を標榜。

注目ポイント

□**環境配慮型のNEER**: NEERは環境配慮型発電に注力、NEERの発電量の68%が風力、14%が太陽光と全発電量の5分の4が再生可能エネルギーに占める。これらの発電コストは年々低下し、経済合理性が高まり、23年度のNEERの営業利益は全体の4割を占めた。

□**AI普及で電力需要増加**: AIの普及に伴うデータセンターで消費される電力や、近隣国の生産拠点移転を背景した暖房・輸送用の電力が長期的に伸びると予想される。23年に不安視されたFPLの選挙法違反を巡るスキャンダルは、今年3月に米当局調査の結果、違法性となしと判断。企業統治の信頼が回復すると見られる。



株価データ	
株価(米ドル)	63.91 (03/28)
52週高値(日付)	79.77 (23/04/21)
52週安値(日付)	47.15 (23/10/06)
時価総額	1,293億ドル 19兆5,788億円
株価変化率(%)	12.0 (過去6ヶ月間) -15.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	18.8 (倍)
株価売上高比率	4.6 (倍)
PBR	2.8 (倍)
税前配当利回り(%)	3.22 (直近年率)
配当成長率(%)	10.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.9 (%)
株式ベータ	0.86 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	20,956	23	4,081	40	4,147	16	2.10	1.70
2023/12	28,114	34	10,237	151	7,310	76	3.60	1.87
四半期業績								
2022/Q4	6,164	—	2,045	—	1,522	—	0.76	0.4250
2023/Q4	6,877	12	2,660	30	1,210	-20	0.59	0.4675

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

国際オイルメジャーの一角、連続増配30年超の配当貴族、バークシャー積極投資

会社概要

国際オイルメジャーの一角で川上(探査・開発)から川下(精製・販売)まで手掛ける。23年末の石油・天然ガスの確認埋蔵量は110.7億石油換算バレル、権益構成比は米国38%、豪州15%、カザフスタン13%。創業は1879年、21年に低炭素ビジネス部門のシェブロン・ニューエナジーズを設立、従業員数は約46,500名(23年末)。エネルギー業種で唯一のNYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□**連続増配は37年目に、ハフェット銘柄**: 24年2月に37年目となる連続増配を発表。S&P500種の配当貴族(継続増配25年以上)構成銘柄で、エネルギー業界は同社とエクソン・モビルのみ。23年に750億ドルの自社株購入枠を設定、23年度に現金配当に113億ドルと自社株買い149億ドルの株主還元を実施。ハフェット氏率いるバークシャーが22年より投資を増やし、23年末時点で同社株の6.8%を保有する。

□**ヘスの買収を発表、米国生産強化**: 23年10月に100%株式交換により同業ヘスを買収すると発表、南米権益の強化等を目論む。今期のシェブロンは米南部パミアン盆地を中心に4~7%増産を計画する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	157.74 (03/28)
52週高値(日付)	172.87 (23/04/14)
52週安値(日付)	139.69 (24/01/18)
時価総額	2,930億ドル 44兆3,491億円
株価変化率(%)	-7.5 (過去6ヶ月間) -1.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	12.9 (倍)
株価売上高比率	1.5 (倍)
PBR	1.8 (倍)
税前配当利回り(%)	4.13 (直近年率)
配当成長率(%)	6.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	13.3 (%)
株式ベータ	0.81 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	246,252	52	49,674	130	35,465	127	18.28	5.68
2023/12	200,949	-18	29,584	-40	21,369	-40	11.36	6.04

四半期業績

2022/Q4	56,473	—	9,808	—	6,353	—	3.33	1.42
2023/Q4	47,180	-16	3,490	-64	2,259	-64	1.22	1.51

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **「ウィンドウズ95以来の革新」生成AIが実装へ**: 23年に9月更新の「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスが開始された。出資するオープンAIの基盤技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。サブスク料金として大企業向けは1人月額30ドルに、中小企業・個人向けは月額20ドルに設定された。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	420.72 (03/28)
52週高値(日付)	430.81 (24/03/21)
52週安値(日付)	272.05 (23/03/28)
時価総額	3兆1,261億ドル 473兆2340億円
株価変化率(%)	34.1 (過去6ヶ月間) 52.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	38.1 (倍)
株価売上高比率	13.7 (倍)
PBR	13.1 (倍)
税前配当利回り(%)	0.71 (直近年率)
配当成長率(%)	10.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	39.2 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/06	198,270	18	83,383	19	72,738	19	9.65	2.48
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.72	2.72

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q2	52,747	—	20,399	—	16,425	—	2.20	0.68
2024/Q2	62,020	18	27,032	33	21,870	33	2.93	0.75

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□**10-12月のアイフォン売上高6%増**：10-12月期は前年同期比2%増収、13%最終増益。中国売上が同13%減と大幅に落ち込んだが、アイフォン世界販売は同6%増となり市場予想を上振れ、音楽・映像・データ保管等のサービス収入が同11%伸びた。会社側は1-3月期売上は前年同期並みを想定する。

□**6月のWWDCでAI戦略発表か**：年次開発者会議(WWDC)を6月10-14日を開き、AI戦略について発表すると見込まれ、基本ソフト「iOS18」は大幅アップデートが予想される。2月末には10年間、開発を進めたEV(電気自動車)の開発断念が伝わり、AI傾斜は必至。



株価チャート(2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	171.48 (03/28)
52週高値(日付)	199.615 (23/12/14)
52週安値(日付)	155.98 (23/03/28)
時価総額	2兆6,480億ドル 400兆8503億円
株価変化率(%)	0.5 (過去6ヶ月間) 8.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.7 (倍)
株価売上高比率	7.0 (倍)
PBR	35.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.56 (直近年率)
配当成長率(%)	4.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	154.3 (%)
株式ベータ	1.12 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.940

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q1	117,154	—	36,016	—	29,998	—	1.88	0.230
2024/Q1	119,575	2	40,373	12	33,916	13	2.18	0.240

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AIに欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

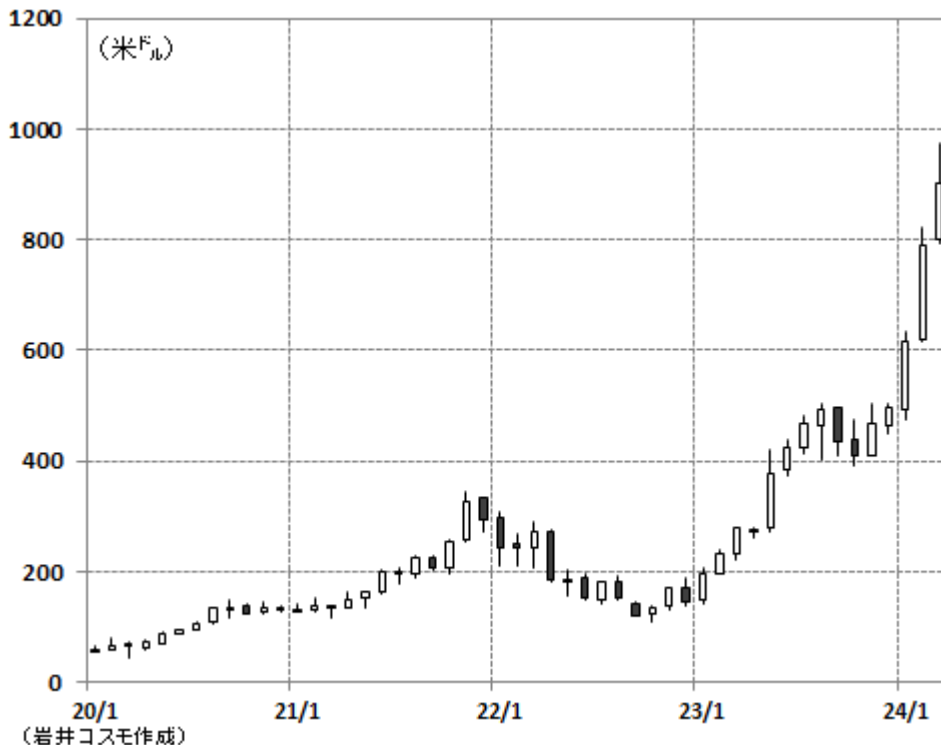
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

AI半導体で主導権を握る：人工知能の計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算する開発環境や、GPUと共に動くCPU(中央演算処理装置)、人型ロボットの基盤モデル等も開発。ヘルスケア企業の創薬支援などをはじめ、多くの企業と提携し、AI分野で主導権を握りつつある。

開発速度がアップ、次世代AI半導体を年内投入：3月の技術者会議GTCにて最新AI半導体を発表。現行「ホッパー」から1年で次世代「ブラックウェル」となり、代表製品の演算性能は2.5倍に、年内投入を計画。25年度第1四半期(2-4月)決算発表は5月22日の予定。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	903.56 (03/28)
52週高値(日付)	973.85 (24/03/08)
52週安値(日付)	258.5 (23/03/28)
時価総額	2兆2,589億ドル 341兆9523億円
株価変化率(%)	109.7 (過去6ヶ月間) 242.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	74.9 (倍)
株価売上高比率	36.6 (倍)
PBR	51.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	91.5 (%)
株式ベータ	1.60 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	11.93	0.16

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	6,051	—	1,257	—	1,414	—	0.57	0.04
2024/Q4	22,103	4倍	13,615	11倍	12,285	9倍	4.93	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

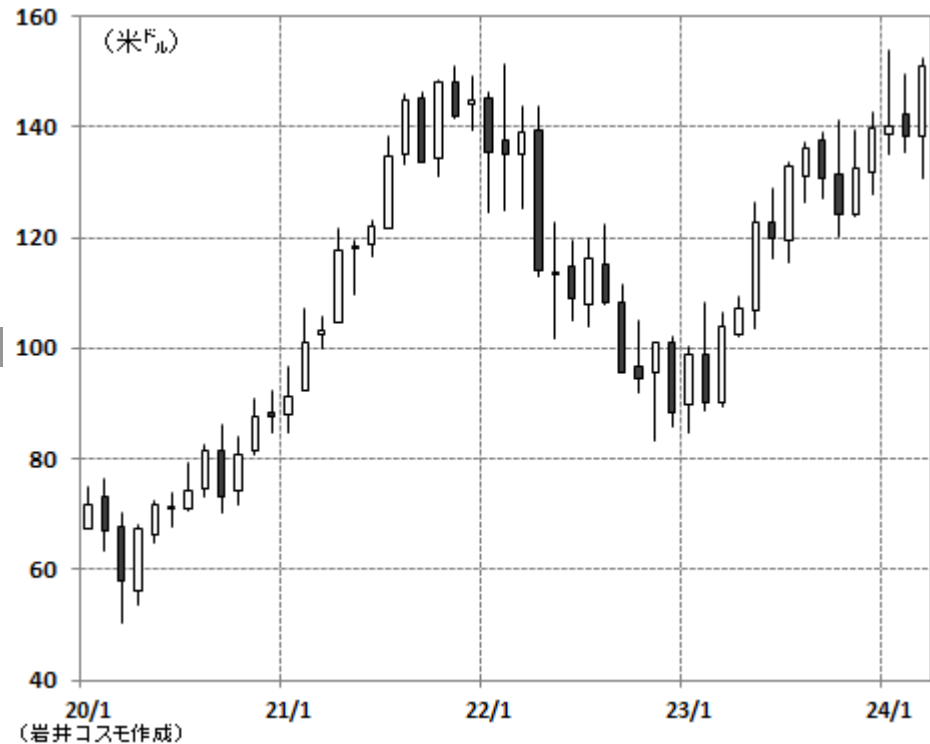
インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は182,502人(23年12月末)。

注目ポイント

- **収益性改善・成長加速**: 23年10-12月期決算は検索やYouTubeの広告やクラウドなどの各部門で売上高の前年同期比の伸びが7-9月期に比べて加速した。クラウド事業は26%増収となり、市場予想を上回った。またコスト削減の取り組みも奏功して各部門利益率も改善した。
- **MSと生成AI覇権争い**: 文書等の自動作成用の生成AIツール「デュエットAI」は1人当り月額30ドルとマイクロソフトの「コパイロット」と同額に設定し対抗。検索エンジン搭載の生成AI「バード」はジェミニに引き継がれ、テキストのみならず、画像・音声の入出力も可能に。性能別に3種類あり、モバイル端末から大規模データセンターまであらゆるものに対応する。3月に入り、アيفونの生成AIにジェミニ搭載で交渉中と報じられ、その行方に注目。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	150.93 (03/28)
52週高値(日付)	153.78 (24/01/29)
52週安値(日付)	99.745 (23/03/28)
時価総額	1兆8,846億ドル 285兆2957億円
株価変化率(%)	14.1 (過去6ヶ月間) 49.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	25.3 (倍)
株価売上高比率	6.2 (倍)
PBR	6.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.4 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績

2022/Q4	76,048	—	18,160	—	13,624	—	1.05	0.00
2023/Q4	86,310	13	23,697	30	20,687	52	1.64	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

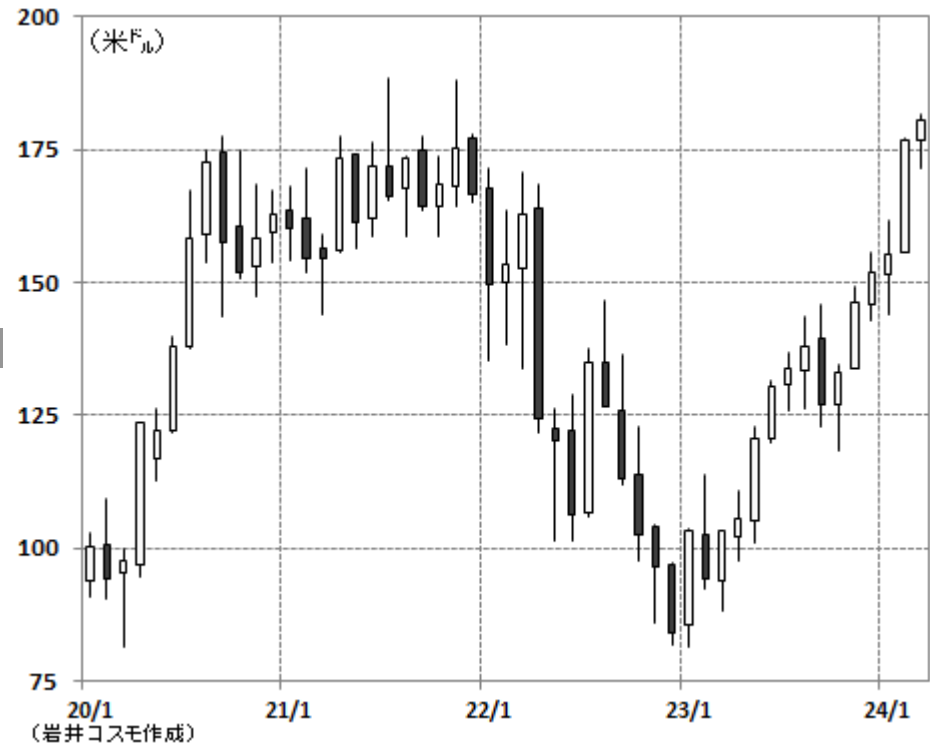
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□**リストラ効果・AWS堅調・広告順調**：23年10-12月決算は収益性の大幅改善を伴う増益の着地。人員削減などを通じた経費抑制が奏功。売上内訳では歳末商戦が反映されたオンライン小売・直販は前年同期比9%伸びたほか、クラウドのAWSが同13%増、広告と同27%増で4四半期連続で伸びが加速。生成AIの買い物アシスタント「ルーフラス」をモバイルアプリに導入すると発表した。

□**NYダウ工業株平均採用**：指数管理会社ダウ・ジョーンズ・インデシズは2月20日、ダウ工業株平均銘柄に薬局大手のウォルグリーン・ブーツに代わってアマゾン株式を26日付けで採用すると発表、ウォルマートと並び米国の消費を代表する企業がダウ銘柄に加わった。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	180.38 (03/28)
52週高値(日付)	181.69 (24/03/28)
52週安値(日付)	96.29 (23/03/28)
時価総額	1兆8,737億ドル 283兆6370億円
株価変化率(%)	43.2 (過去6ヶ月間) 85.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	61.6 (倍)
株価売上高比率	3.2 (倍)
PBR	9.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.5 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
四半期業績								
2022/Q4	149,204	—	2,737	—	278	—	0.03	0.00
2023/Q4	169,961	14	13,209	4.8倍	10,624	38倍	1.00	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

約40億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

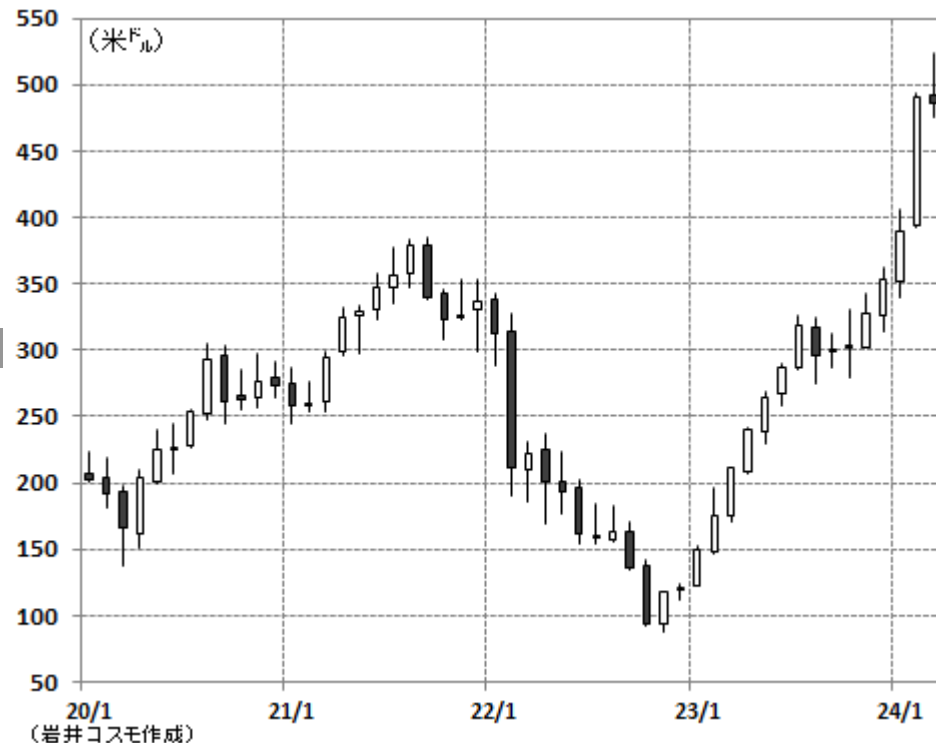
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動、インスタグラムなども含む)は全世界で39.8億人(23年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約67,317人(23年12月末時点)。

注目ポイント

□**売上加速・リストラ効果で利益急増**: 10-12月期の前年同期比・増収率が+25%と22年の減収時期を経て再加速。短編動画広告の収益改善やワッツアップのビジネスメッセージ、小売連動広告等の新タイプの広告やVR(仮想現実)端末「メタ・クエスト3」が伸長、人員削減・オフィス集約でスリム化が進んだ結果、利益急増が実現。初の現金配当の開始も発表された。

□**次世代大規模言語モデル**: 対話型アシスタント「メタAI」は23年末に米国で全面展開、次世代・独自大規模言語モデル「ラマ(Llama)3」を7月にも稼働させユーザーの質疑応答機能が強化されると報じられた。



株価データ	
株価(米ドル)	485.58 (03/28)
52週高値(日付)	523.57 (24/03/08)
52週安値(日付)	197.9 (23/03/28)
時価総額	12,379億ドル 187兆3994億円
株価変化率(%)	59.8 (過去6ヶ月間) 142.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.2 (倍)
株価売上高比率	9.3 (倍)
PBR	8.1 (倍)
税前配当利回り(%)	0.41 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	28.0 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	32,165	—	6,399	—	4,652	—	1.76	0.00
2023/Q4	40,111	25	16,384	156	14,017	201	5.33	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□**トヨタも北米充電規格はテスラ式に**: 23年前半にGMやフォードがこぞって急速充電設備利用を目的にテスラが開発した充電規格「NACS」の採用を決め、テスラ式の北米充電規格の業界標準化が加速した。日本の自動車メーカーも日産、ホンダに続き、トヨタ自動車も10月に北米充電規格はテスラ式にすることを発表、テスラの優位性が増した。

□**次世代量産車の開発に集中**: 1月の決算発表で、24年の自動車納車台数の伸びは23年(前期比38%増)を大きく下回る可能性に言及。理由の一つに「次世代低価格量産車」の開発に専念することを挙げた。また最初の生産工場はテキサス州ギガファクトリーになるとした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	175.79 (03/28)
52週高値(日付)	299.29 (23/07/19)
52週安値(日付)	152.37 (23/04/27)
時価総額	5,599億 ^{ドル} 84兆7507億円
株価変化率(%)	-28.7 (過去6ヶ月間) -7.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	67.3 (倍)
株価売上高比率	5.8 (倍)
PBR	8.9 (倍)
税配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.9 (%)
株式ベータ	1.55 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
四半期業績								
2022/Q4	24,318	—	3,901	—	3,687	—	1.07	0.00
2023/Q4	25,167	3	2,064	-47	7,928	115	2.27	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業、肥満症薬やアルツハイマー型認知症治験薬に注目高まる

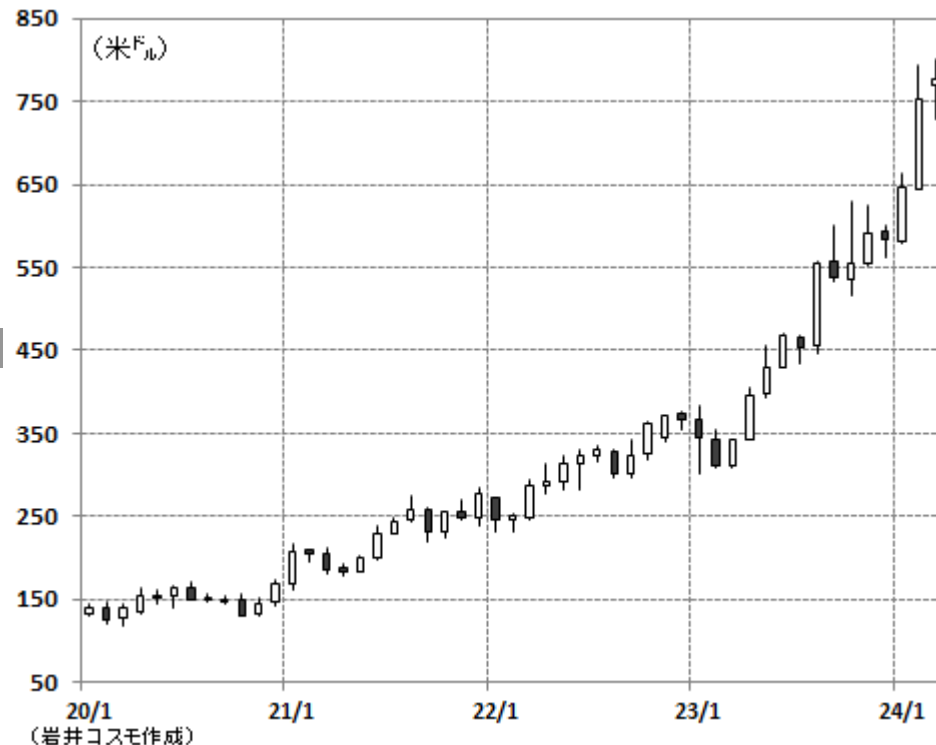
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリベイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症薬で売上急増、新薬開発も充実**: 2型糖尿病治療薬「マンジャロ」と同成分の肥満症治療薬「ゼブパウンド」の売上がけん引し、10-12月期売上は急増。両薬は「GLP-1/GIP受容体作動薬」で食欲抑制効果があり、肥満症薬市場の急成長の一翼を担う。同社は注射剤の「レタルトルチド(第3相段階)」と経口タイプの「オルフォルクリプロン(第3相段階)」の肥満症の治験薬も開発する。

□ **薬の宅配でアマゾンと提携**: 3月にアマゾンの米オンライン薬局「アマゾン・ファーマシー」と提携、リリーの電子プラットフォームがアマゾンに調剤業者の一つに指定、「ゼブパウンド」のほか糖尿病・片頭痛薬を宅配する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	777.96 (03/28)
52週高値(日付)	800 (24/03/04)
52週安値(日付)	334.64 (23/03/29)
時価総額	7,397億ドル 1,11兆9,694億円
株価変化率(%)	42.9 (過去6ヶ月間) 130.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	82.8 (倍)
株価売上高比率	20.5 (倍)
PBR	68.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.67 (直近年率)
配当成長率(%)	15.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	48.9 (%)
株式ベータ	0.66 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92
2023/12	34,124	20	6,555	-4	5,240	-16	5.80	4.52

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	税引前利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q4	7,302	—	2,096	—	1,938	—	2.14	0.98
2023/Q4	9,353	28	2,509	20	2,190	13	2.42	1.13

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

グラフィックデザインやマーケティング分野に強いソフトウェア企業、画像生成AIを強化

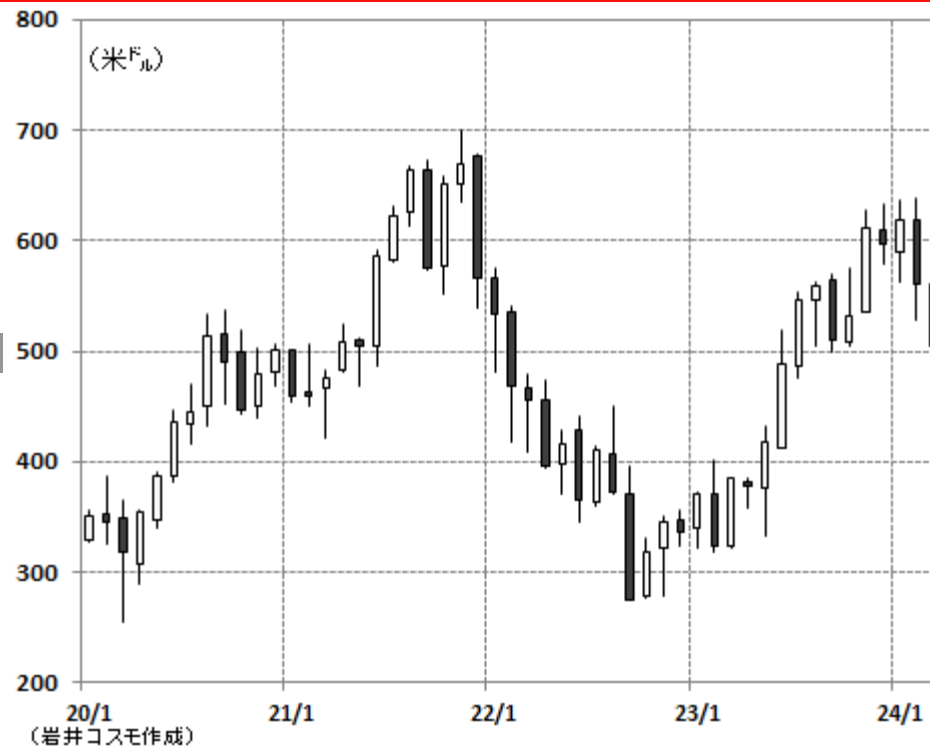
会社概要

画像加工/文書編集/マーケティング・ソフトの大手。身近な例では文書ソフト「アクロバット」が有名。画像加工ソフト「フォトショップ」、「イラストレーター」等のクリエイター向けのソフトが売上の6割を占め、収益の柱。2009年にサイト閲覧解析のオムチュアの買収を機にデジタルマーケティング分野を強化、19年1月にマーケティング自動化ソフトのマルトを取得。本社はカリフォルニア州サンゼ、従業員数は30,076名(24年3月時点)。

注目ポイント

□ **画像生成AI「ファイアフライ」**: 簡単な文章を元に画像等を作成する生成AI「ファイアフライ」を23年9月に商用提供開始。描きたいものを文章で打ち込めば数秒で画像が出来上がる。試験公開以来65億超の作品が生成され、機能は各製品の最上位版に既に追加、11月より欧米ではサブスク料金が約1割値上げされた。

□ **マイクロソフトと提携**: 「ChatGPT」で知られるオープンAIが動画生成AI「ソラ(SORA)」を2月に発表、文字から複雑な動画を生成でき競合リスクが高まった。アドビは3月のイベントでマイクロソフト(MS)と提携強化、MSのAIアシスタントで「ファイアフライ」を使い、「ワード」と連携可能する。



株価データ	
株価(米ドル)	504.6 (03/28)
52週高値(日付)	638.23 (24/02/02)
52週安値(日付)	331.98 (23/05/12)
時価総額	2,261億ドル 34兆2,211億円
株価変化率(%)	-0.0 (過去6ヶ月間) 35.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	39.9 (倍)
株価売上高比率	11.5 (倍)
PBR	14.8 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.4 (%)
株式ベータ	1.48 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/11	17,606	12	6,098	5	4,756	-1	10.10	0.00
2023/11	19,409	10	6,650	9	5,428	14	11.82	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q1	4,655	—	1,586	—	1,247	—	2.71	0.00
2024/Q1	5,182	11	907	-43	620	-50	1.36	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

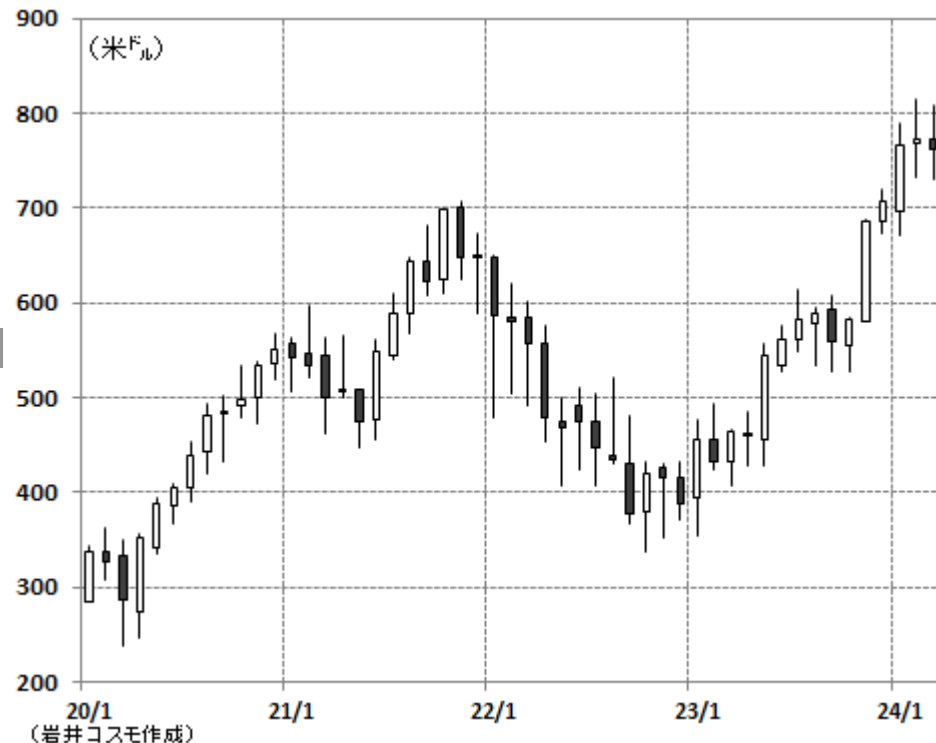
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は7,700社超。地域別売上(23年度)は北米64%、欧州等26%、アジア/太平洋が11%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は22,668名(23年12月末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **エヌビディアと協業**：サービスナウとエヌビディアは協業し、企業の社内システムに生成AI(人工知能)を導入しやすくする。サービスナウのクラウドサービスにエヌビディアの対話型AIサービスの開発基盤等を活用する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	762.4 (03/28)
52週高値(日付)	815.25 (24/02/09)
52週安値(日付)	427.4 (23/03/28)
時価総額	1,563億ドル 23兆6,595億円
株価変化率(%)	37.7 (過去6ヶ月間) 77.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	184.3 (倍)
株価売上高比率	17.4 (倍)
PBR	20.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.3 (%)
株式ベータ	1.44 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00
2023/12	8,971	24	762	115	1,731	5.3倍	8.42	0.00
四半期業績								
2022/Q4	1,940	—	155	—	150	—	0.74	0.00
2023/Q4	2,437	26	270	74	295	97	1.43	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに劣後も巻き返し目指す**：AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な存在。ただPCやサーバ向けCPUではインテルの方がシェアで勝り、GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝す。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、インテルやエヌビディアの牙城の切り崩しを画策する。

□ **高性能AI半導体を発表**：AMDは生成AIにも対応する高性能GPU「MI300X」を12月に発表・出荷開始、マイクロソフトやメタ等のIT大手が購入した。10-12月期決算で、データセンター向けGPUの24年売上高予想を従来の20億ドル超から35億ドル超に上方修正した。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	180.49 (03/28)
52週高値(日付)	227.29 (24/03/08)
52週安値(日付)	81.02 (23/05/03)
時価総額	2,916億ドル 44兆1,475億円
株価変化率(%)	75.6 (過去6ヶ月間) 90.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	286.6 (倍)
株価売上高比率	12.8 (倍)
PBR	5.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	1.5 (%)
株式ベータ	1.50 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	23,601	44	1,264	-65	1,320	-58	0.84	0.00
2023/12	22,680	-4	401	-68	854	-35	0.53	0.00

四半期業績

2022/Q4	5,599	—	-149	—	21	—	0.01	0.00
2023/Q4	6,168	10	342	黒転	667	32倍	0.41	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI普及やクラウド化を背景に新分野の需要が拡大

会社概要

1978年設立の半導体メモリ製造大手。DRAM分野では2013年に日本のエルピーダメモリ、16年に台湾・華亜科技を買収。韓国サムスン、SKハイニックスに次ぐ業界3位に位置(22年市場シェア)。製品別売上構成比(前期)はDRAMが71%、NANDフラッシュ27%、その他2%。DRAMは省電力型の半導体メモリ。NANDフラッシュは電気を切っても記憶内容が消去されない特徴を持ち、単価はDRAMより高い。

注目ポイント

□ **超高速メモリを量産開始、エヌビディアに納入**：2月に超高速・高性能のHBM(広帯域幅メモリ)の量産化を開始、エヌビディアのAI用GPUと共に使用される。マイクロン製「HBM3E」は他社製品より30%消費電力が抑えられるという。12-2月期決算発表では、超高速メモリが25年まで注文が埋まるほど需要が旺盛であることを明らかにした。

□ **早期黒字化実現、見通し楽観**：メモリ市況はコロナ特需の反動から需給バランスが崩れ価格低迷、22年9-11月期以降、赤字が続いたが、生産調整の後に価格が回復。前回決算で早期黒字化が実現した。会社側は24年の業界回復、25年の記録的売上を見込む。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	117.89 (03/28)
52週高値(日付)	122.45 (24/03/26)
52週安値(日付)	56.02 (23/04/05)
時価総額	1,305億 ^{ドル} 19兆7,623億円
株価変化率(%)	80.8 (過去6ヶ月間) 98.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	7.1 (倍)
PBR	3.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.39 (直近年率)
配当成長率(%)	3.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-8.3 (%)
株式ベータ	1.17 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/08	30,758	11	9,702	54	8,687	48	7.75	0.430
2023/08	15,540	-49	-5,745	赤転	-5,833	赤転	-5.34	0.460

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/Q2	3,693	—	-2,303	—	-2,312	—	-2.12	0.115
2024/Q2	5,824	58	191	黒転	793	黒転	0.71	0.115

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体製造装置の世界大手、新製品投入効果に期待

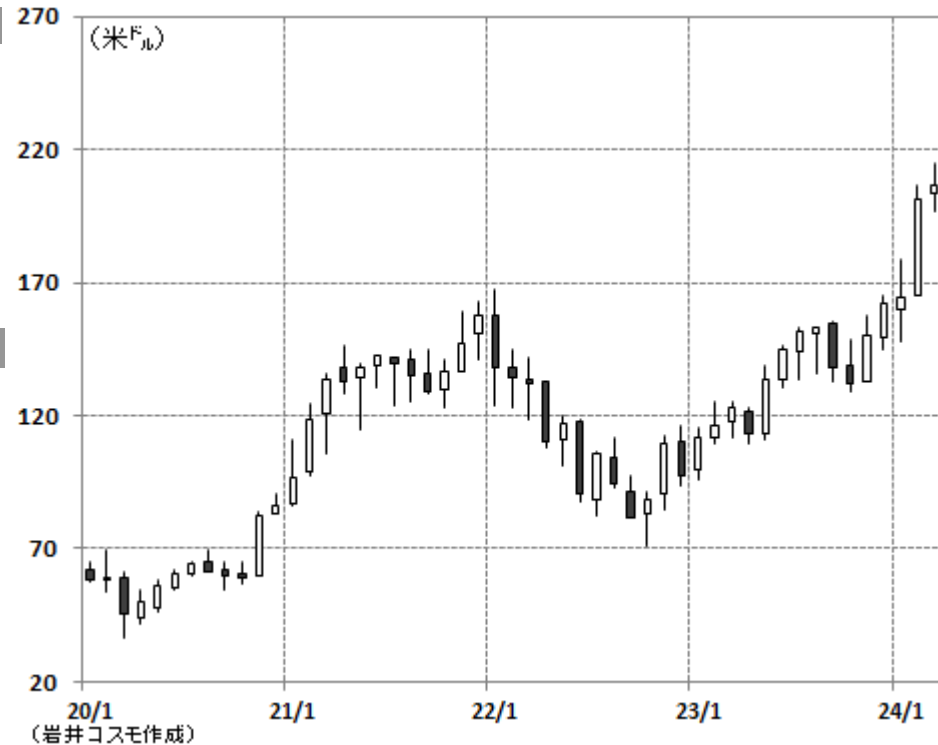
会社概要

半導体製造装置の世界大手。半導体やフラットパネルディスプレイ等の製造装置や関連ソフトウェアを製造・販売。中核事業部門である半導体製造装置部門はチップ製造の主要工程全般の装置を手掛ける。主要顧客は台湾TSMC、韓国サムスン電子、インテル等で直販体制を敷く。米国、ドイツ、台湾、シンガポール等に生産拠点、本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は約34,500名(24年1月末時点)。

注目ポイント

□ **売上急増の可能性を示す**: 11-1月期決算で続く2-4月売上見通しは61億-69億ドルと中央値が市場予想を上振れ、半導体業界の回復の可能性を示した。11-1月期売上の45%は中国向けが占め、規制強化を見据えた駆け込み需要を反映。会社側は「ICAPS(IoT/通信/自動車/電力/センサー)分野」の製造能力の構築する動きを指摘、TSMCなど主要顧客の生産投資の増加の動きを示唆した。

□ **新製品効果に期待**: ASMLのEUV露光装置による電子回路転写工程の回数を2回を1回に減らし、省電力・コスト削減に貢献する新製品「センチュラ・スカルプタ」が今後の成長ドライバーとして期待される。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	206.23 (03/28)
52週高値(日付)	214.87 (24/03/21)
52週安値(日付)	109.13 (23/04/19)
時価総額	1,714億ドル 25兆9,399億円
株価変化率(%)	49.2 (過去6ヶ月間) 77.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	25.2 (倍)
株価売上高比率	6.5 (倍)
PBR	9.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.78 (直近年率)
配当成長率(%)	23.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	46.4 (%)
株式ベータ	1.45 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	25,785	12	7,788	13	6,525	11	7.44	1.02
2023/10	26,517	3	7,654	-2	6,856	5	8.11	1.16

四半期業績

2023/Q1	6,739	—	1,970	—	1,717	—	2.02	0.26
2024/Q1	6,707	-0	1,967	-0	2,019	18	2.41	0.32

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

半導体・集積回路の設計支援ソフトの世界大手、ソフトウェア検証も手掛ける

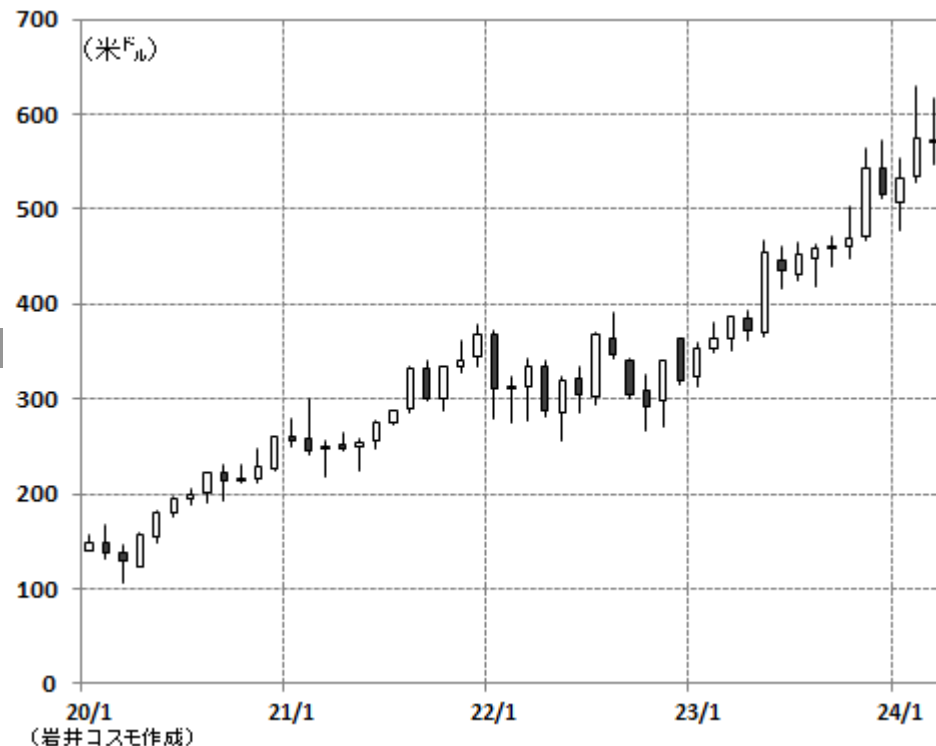
会社概要

世界中の電子部品・半導体メカ企業に半導体・集積回路及び電子デバイスの設計ができるEDA(設計の自動化ツール)製品を開発・提供。また電子システムやソフト向けの検証用ソフト・ハードも手掛ける。同社設計ツールは開発時間を短縮、製造コストを削減させたり、専用ソフトは開発ソフトの品質向上などに貢献する。23年度収益構成比は、EDAが63%、設計用IP26%、ソフト検証9%。S&P500指数構成銘柄。

注目ポイント

□ **AI半導体等の開発強化でEDA業界が恩恵享受**: 顧客はIT大手等も含む半導体企業や電子部品等の開発企業。EDA業界ではライバルのケイテンスや独シメンスEDAと同社の3社しかなく、寡占状態。専門分野を棲み分けしつつ、高い収益性を確保。顧客の開発競争は加熱傾向にあり、EDAの利用増加に伴う収益拡大に帰結する。1月にシュミレーションソフトメーカーのアンシスの買収を発表、業界優位を目指す。

□ **エヌビディアと提携強化**: 3月のGTCイベントで、GPUを使った半導体製造の露光工程の演算実行ツール「NVIDIA cuLitho」をTSMCとシノプシスが採用すると発表。先端半導体の設計で自社製品と統合する。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	571.5 (03/28)
52週高値(日付)	629.37 (24/02/22)
52週安値(日付)	360.58 (23/04/25)
時価総額	872億ドル 131,971億円
株価変化率(%)	24.0 (過去6ヶ月間) 54.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	62.1 (倍)
株価売上高比率	14.2 (倍)
PBR	13.1 (倍)
税前列当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.9 (%)
株式ベータ	1.16 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/10	5,082	21	1,162	58	985	30	6.29	0.00
2023/10	5,843	15	1,269	9	1,230	25	7.92	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q1	1,361	—	256	—	272	—	1.75	0.00
2024/Q1	1,649	21	360	41	449	65	2.89	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウドストライク・ホールディングス(CRWD)

高成長のエンドポイント・セキュリティ企業

会社概要

2011年設立の次世代サイバ-セキュリティ企業。創業者のジョージ・カッツ最高経営責任者(CEO)は、米セキュリティ大手のマカフィーの幹部を経て、同僚のトミ・アルペロビッチ氏と同社を立ちあげる。前々回の大統領選前の16年4月、米民主党中央委員会に対するロシア系グループのサイバ-攻撃を発見し、一躍有名となる。人工知能(AI)とクラウドサービスを活用し、サイバ-攻撃に対処する技術やサービスを提供する。

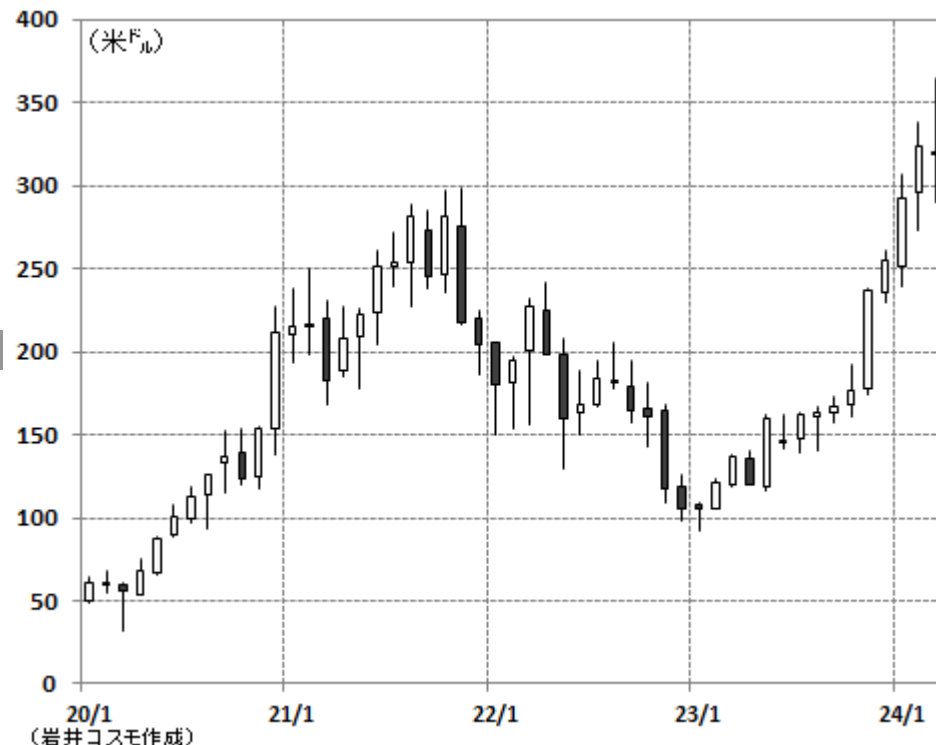
注目ポイント

□ **エンドポイント・セキュリティに強み**：同社はエンドポイント防御プラットフォーム(EPP)分野を代表するセキュリティ企業。顧客が使用するモバイル機器やサーバ-などのエンドユーザー機器を保護、100%クラウド型の基本設計であり、クラウドを使用しない従来型に対して競争優位性を持つ。23年9月に示した中計では、各種利益率の改善目標を明示した。

□ **生成AI機能を製品に統合**：対話型AI機能の付いたセキュリティ製品「シャロットAI」を導入し、IT運用者が日常言語で製品に問いかけると必要な脅威検知/調査/修復等の対応を指示してくれる。高度な専門知識がなくても迅速に対処できるのが特長である。

上場市場
ナスダック

セクター
ソフトウェア



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	320.59 (03/28)
52週高値(日付)	365 (24/03/06)
52週安値(日付)	115.75 (23/05/03)
時価総額	775億ドル 11兆7,381億円
株価変化率(%)	94.0 (過去6ヶ月間) 149.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	813.2 (倍)
株価売上高比率	25.0 (倍)
PBR	33.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.7 (%)
株式ベータ	1.37 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	2,241	54	-190	赤継	-183	赤継	-0.79	0.00
2024/01	3,056	36	-2	赤継	89	赤継	0.37	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	637	—	-62	—	-47	—	-0.20	0.00
2024/Q4	845	33	30	黒転	54	黒転	0.22	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ウーバー・テクノロジー(UBER)

配車/フードデリバリー・サービスを展開。最終黒字化実現

会社概要

米国最大のライドシェア企業、世界約70カ国でサービスを展開。「ウーバー・ブラック」や「ウーバー・X」等の乗客数や車種に応じたライドシェアリングを提供。ほか料理配送を請け負う「ウーバー・イツ」や荷物配送の「ウーバー・フレイト」事業も手掛ける。米国ライドシェア事業での市場シェアは7割強(23年12月)と2位のリフトを引き離す。2019年5月にニューヨーク上場、主要株主にソフトバンクG。23年12月にS&P500指数に採用された。

注目ポイント

□ **経営資源を集約し、黒字化定着**：23年第4四半期に3四半期連続で最終黒字を達成。自動運転開発子会社の売却や経費節減に取り組み、コロナ禍で伸びた料理配送に加え中核の配車サービスを復活させたことが奏功した。日本、インドを含むアジア太平洋や中南米が特に好調。日本のタクシー会社のライドシェア市場に4月参入予定。

□ **初の自社株買いを発表**：2月14日の投資家説明会では初の株主還元として最大70億ドルの自社株買い計画を発表。今後3年間の見通しとして為替変動除く総予約額の伸びを年平均「10台半ばから後半」、調整後EBITDAの同伸びを「30%台後半～40%」等とした。



株価チャート (2020年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	76.99 (03/28)
52週高値(日付)	82.1 (24/03/04)
52週安値(日付)	29.225 (23/04/27)
時価総額	1,603億ドル 24兆2,599億円
株価変化率(%)	66.9 (過去6ヶ月間) 156.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	357 (倍)
株価売上高比率	4.2 (倍)
PBR	14.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.5 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	31,877	83	-1,832	赤継	-9,141	赤継	-4.65	0.00
2023/12	37,281	17	1,110	黒転	1,887	黒転	0.87	0.00
四半期業績								
2022/Q4	8,607	—	-142	—	595	—	0.29	0.00
2023/Q4	9,936	15	652	黒転	1,429	140	0.66	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。